

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府泉佐野市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	泉佐野市文化遺産活用活性化計画		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>泉佐野市には、国宝慈眼院多宝塔をはじめとする建造物や美術工芸品などの有形文化財、国史跡日根荘遺跡、重要文化的景観「日根荘大木の農村景観」の他、無形の民俗文化財など、数多くの特色ある文化財が所在している。こうした文化財は、未指定のものも含めて、泉佐野市の貴重な文化遺産である。</p> <p>一方で泉佐野市は大都市近郊でかつ関西空港を有する交通至便な場所に位置し、地域の活性化の観点からもこうした文化遺産の活用が望まれているところである。そこで、市内に所在する文化遺産を積極的に活用することにより、地域の活性化へつなげるために、泉佐野市総合計画の他、市の各種計画に基づき、以下の事業を実施する。</p> <p>本事業の実施により、市民がふるさとの文化遺産にふれる機会を充実させるとともに、未知の文化遺産の掘り起こしを進め、より市民に親しまれる文化遺産となるよう取り組みを進める。また事業に参画する文化財保存団体及び関係諸団体間の交流と連携を促進し、新たな事業創造へ向けて体制作り等の検討を行う。</p> <p>市内の民俗芸能については、地域の伝統的行事の減少、後継者確保の困難さ、用具の経年劣化に対応する経費不足など各団体共通の課題を抱えている。本事業における用具の修理・新調等について保存団体の経費負担を軽減することを旨とした、年次計画を早期に策定する。</p>			
6 実施体制			
<p>本計画については、泉佐野市（泉佐野市教育委員会）が、全体計画の企画、調整、事業等の指導を行う。</p> <p>主な担当課と役割  教育委員会 教育総務課：補助事業の調整、文化財の取扱、伝承教室等に関する調整等  生活産業部 まちの活性化課：観光関連業務に関する指導</p> <p>補助事業の実施については、次の団体が実施予定</p> <p>①泉佐野市文化遺産活用活性化実行委員会（委員長：奥 真弥）  構成団体：泉佐野市観光ボランティア協会、長南校区地域文化伝承実行委員会、和太鼓クラブ泉州雅 他</p> <p>②泉佐野市郷土芸能の集い実行委員会（実行委員長：千代松 大耕）  構成団体：泉佐野市町会連合会、泉佐野市観光協会、佐野踊り保存会他</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 6,318 千円	平成29年度申請額： 1,699 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民の地域の文化遺産に対する関心や意識の向上を図ることができ、地域の文化遺産の保存、次世代への継承をより充実させることが期待される。さらに地域の文化遺産に関係する市民、保存団体、行政等の連携・協力・協働体制を構築することで、幅広く文化遺産を地域の活性化に活かす意識が共有される。また、関西空港の地元であることを活かし、来訪者の増加と満足度の向上に寄与することで地域の活性化に寄与することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>歴史文化基本構想は、平成30年に策定を予定している。また、歴史的風致維持向上計画の策定に向けて業務を進めていく。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	泉佐野市教育委員会 教育総務課 文化財係		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	保存団体の人数の維持			関連事業 :	①、②、③、④	
目標値 1 :	平成 28 年度		27 人	⇒	平成 33 年度 27 人	
設定根拠 1 :	現在の会員数を維持する。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の祭礼行事等への入込客数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 2 :	郷土芸能の集いにおける来場者数の増加			関連事業 :	⑤	
目標値 2 :	平成 28 年度		4,800 人	⇒	平成 33 年度 5,625 人	
設定根拠 2 :	平成27年度から平成28年度の伸び率0.5%を例年の伸び率として設定。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	



事業④：	和太鼓継承事業	実施団体：	和太鼓クラブ 泉州雅			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度			
事業概要：	日本の伝統的な打楽器である和太鼓演奏技術の習得を目指す。また、よりレベルの高い奏法を身につけられるように外部講師を招き、初心者や経験の浅い会員を対象に太鼓に触れ練習できる時間を増やせるよう、用具を購入する。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	新規入会者も含め、和太鼓クラブの会員数を維持する。					
目標値：	平成 28 年度	12 人	⇒	平成 33 年度	12 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業⑤：	泉佐野市郷土芸能による地域活性化促進事業	実施団体：	泉佐野市郷土芸能の集い実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度			
事業概要：	泉佐野で伝承される盆踊りを一堂に会し、市指定無形民俗文化財「佐野くどき」の実演披露の他、民俗芸能保持団体による披露を行う。また、広く郷土芸能を体験し、関心を高めてもらえるよう観覧者が参加可能なイベントとして開催する。					
評価指標区分：	・その他			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	郷土芸能の集いへの来場者数の変化					
目標値：	平成 28 年度	4,800 人	⇒	平成 33 年度	5,625 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	